

オススメあかちゃん絵本

『いないいないばあ』 松谷みよ子／ぶん 瀬川康男／え 童心社

「いないいないばあ にゃあにゃがほらほら いらないない…」
松谷みよ子のあかちゃんのための絵本です。
あかちゃんの反応を見ながら語りかけるように
いっしょに遊びながら読んであげてください。



『じゃあじゃあびりびり』 まついのりこ／作・絵 偕成社

「じどうしゃ ぶーぶーぶーぶー」「みず じゃあじゃあじゃあ」
さまざまな物の出す音があかちゃんの大好きな
繰り返し音の言葉で表現されています。
音から物を認識する絵本です。



『がたんごとんがたんごとん』 安西水丸／さく 福音館書店

あかちゃんがよく知っている哺乳ビンやスプーンなどが
走ってくる汽車に乗り込みます。
「がたんごとん がたんごとん」というリズム感のある言葉と
繰り返しのお話の展開が楽しい絵本。



『もうおきるかな?』

まつのまさこ／ぶん やぶうちまさゆき／え 福音館書店

眠っている動物の親子の毛並みや息づかいが
伝わってくるような絵本です。
その暖かさや穏やかさを感じながら、本を介して
あかちゃんと楽しくおはなしができます。



『くだもの』 平山和子／さく 福音館書店

すいかやももなど、日常子どもたちが食べるくだものが、本物そっくりに描かれています。おいしそうで思わず食べたくなってしまふ、あかちゃんといっしょに味わえる楽しい絵本です。



『くつつあるけ』 林明子／さく 福音館書店

くつがさんぽにでかけます。ぱたぱたと歩いたり、ぴよんぴよんはねたり。ころんじゃってもちゃんとひとりでおきあがるよ。くつをはいてお散歩にでかけるのが楽しくなる、



『いいおかお』 松谷みよ子／ぶん 瀬川康男／え 童心社

ふうちゃんがひとりで、いいおかおをしていました。そこへねこがやってきて…。松谷みよ子あかちゃんの本シリーズの中の一冊。子どもが喜ぶ繰り返しが使われています。



『てんてんてん』 わかやましずこ／さく 福音館書店

「てん てん てん。てんとうむし。」
「ぐる ぐる ぐる。かたつむり。」
リズムカルな文章が心地よく、ページをめくるたびにいろいろな虫たちと出会えます。あかちゃんがはじめて虫と出会うのにぴったりの絵本です。



『おつきさまこんばんは』 林明子／さく 福音館書店

2匹のネコがおつきさまに会えるのをまだかまだかと待っています。やがて月が屋根の上にぽっかり浮かび「おつきさまこんばんは」。そこへくもさんが近づいてきて…。おつきさまのやさしい顔にうっとりする絵本です。



『もこもこもこ』 谷川俊太郎／作 元永定正／絵 文研出版

しーんと静まりかえった大地、そこに得体の知れないものが「もこ」と出てきます。もこ もこもこ、によき によきなどの擬音とカラフルな色、いろいろな形の変化が楽しめる絵本です。



『おててがでたよ』 林明子／さく 福音館書店

あかちゃんがひとりで服を着ています。あれれ、なんにも見えないよ。おててはどこかな。あたまはどこかな。親子でいっしょに体の部分に出会っていく絵本です。



『たんたんぼうや』

かんざわとしこ／ぶん やぎゅうげんいちろう／え 福音館書店

たんたんぼうやが元気にたんたん歩いていくと、動物たちがついてきます。ゆかいで楽しい散歩の絵本。歌のようなリズムのある文章を、あかちゃんと一緒に楽しめます。



『わんわんわんわん』 高畠純／作 理論社

鳴き声を楽しむ絵本です。見開きの左側と右側で鳴き声と動物の位置が同じ所になっているので、どの動物の鳴き声か一目で分かります。あかちゃんと一緒に声を出して楽しんで下さい。

